

問1 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。(2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 土偶
2. 石包丁
3. 埴輪
4. 銅鐸

問2 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。(2023年 香川県公立入試 類似)

1. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。
2. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。
3. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。
4. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。

問3 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。(2024年 福島県公立入試 類似)

1. 岩宿遺跡
2. 登呂遺跡
3. 吉野ヶ里遺跡
4. 三内丸山遺跡

問4 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。(2024年 大分県公立入試 類似)

1. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。
2. 大陸との公的な交易を行うために、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。
3. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。
4. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。

問5 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。(2026年 熊本県公立入試 類似)

1. 埴輪
2. 石包丁
3. 銅鐸
4. 土偶

問6 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。(2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。
2. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。
3. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式の道具として用いられた。
4. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。

問7 青森県にある三内丸山遺跡の特徴を説明した新聞記事において、この遺跡が「縄文時代の生活観を大きく変えた」とされる理由として、当時の人々の暮らしの様子を正しく説明しているものはどれか。(2025年 北海道公立入試 類似)

1. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。
2. 大型掘立柱建物跡や多数の竪穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。
3. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。
4. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。

問8 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。(2026年 熊本県公立入試 類似)

1. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。
2. 本格的な水稻耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。
3. 竪穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。
4. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。

問9 日本の古代文化における「土偶」と「はにわ」の違いについて、時代背景と目的の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。(2026年 千葉県公立入試 類似)

1. 土偶は縄文時代に作られ、豊穡や魔除けを祈る呪術的な道具であったが、はにわは古墳時代に作られ、古墳を飾り立てるためのものであった。
2. 土偶は写実的な人物像として奈良時代に完成したが、はにわは縄文時代に土器の蓋として実用的に使われていた。
3. 土偶は権力者の死を悼むために古墳の内部に納められたが、はにわは狩猟の成功を願って森の入り口に置かれた。
4. 土偶は弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一種であるが、はにわは飛鳥時代に仏教とともに伝わった石像の技術で作られた。

問10 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットゥシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。(2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 大和民族
2. 渡来人
3. アイヌ民族
4. 琉球民族

問11 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。(2019年 山形県公立入試 類似)

1. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。
2. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。
3. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。
4. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。

問12 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。(2025年 北海道公立入試 類似)

1. 岩宿遺跡
2. 登呂遺跡
3. 吉野ヶ里遺跡
4. 三内丸山遺跡

問13 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。(2023年 香川県公立入試 類似)

1. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。
2. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。
3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。
4. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。